

## 第40回黒部川土砂管理協議会 議事録

### ●開催要件

○開催日時 平成28年5月24日（火） 10:00～12:00

○会場 入善町「まちなか交流施設 うるおい館」

○出席者

- |                            |                           |
|----------------------------|---------------------------|
| ・堀内 康男 黒部市長                | ・河村 幹治 富山県農林水産部次長         |
| ・笹島 春人 入善町長                | ・村岡 清孝 富山県土木部次長           |
| ・笹原 靖直 朝日町長                | ・浅野 誠 関西電力(株) 電力流通事業本部    |
| ・中島 孝雄 富山森林管理署長            | 北陸電力部長代理                  |
| ・中島 浩薫 富山県生活環境文化<br>環境保全課長 | ・入江 靖 北陸地方整備局河川部長<br>(座長) |

事務局 北陸地方整備局河川部、関西電力(株) 電力流通事業本部 北陸電力部

### ●議 事

- (1)平成28年度連携排砂計画（案）について
- (2)平成28年度連携排砂に伴う環境調査計画（案）について
- (3)平成28年度大粒径土砂の移動状況調査について
- (4)平成28年度連携排砂計画（案）についての黒部川ダム排砂評価委員への持ち回り審議結果について
- (5)平成28年度連携排砂計画及び連携排砂に伴う環境調査計画に関する関係団体からの意見について
- (6)その他

### ●協議会の結果

- ・平成28年度連携排砂計画、平成28年度連携排砂に伴う環境調査計画については、了承する。
- ・連携排砂実施にあたっては、今回出された意見を踏まえて、適切に実施されたい。

## (1) 平成28年度連携排砂計画(案)について

**座長**

ただいまの説明につきまして質問、意見がありましたらお願いします。

**A委員**

10ページのSS値の話ですが、宇奈月ダム直下のSS値が高いということで、少し排砂ゲートの開き方を工夫してやっていこうという、説明だったと思うのですが、そのことについて排砂ゲートが開くのを、今まで何時間でやっていた今後は何時間でやるという、具体的な時間を持っておられるんですか。

**座長**

事務局、回答はありますか。

**事務局**

昨年の事例ではダム水位低下速度を抑制しなかった場合に比べ、自然流下になる時間が1時間ぐらい延びるというイメージでした。

**座長**

たしか前回、前々回の協議会ではその資料も載せて説明したかと思いますが、今日はつけていますか、つけていませんか。

**事務局**

今日は資料をおつけしておりません。今回のSS値の予測はダム水位低下速度の抑制を加味していない数値なのですが、抑制を加味するとこれよりも若干下回る認識でおります。

**A委員**

大分うまくやれるようになるということいいんですか。

**事務局**

はい。

**座長**

たしか、ダム水位低下速度をどのくらい遅らせたことによってSS値が何%低減したというシミュレーション結果が前回の協議会で報告されたと思いますが、今それは報告できますか。

**事務局**

(前回資料を見て) 前回のダム水位低下速度抑制によるSS値の低減効果につきまして

は、これまで6 m/h 近くだったものを3～4 m/h にした結果、21%のSSの低減率がございました。

水位の低下時間も、先ほど1時間と申し上げましたが、大体2時間ぐらい自然流下まで伸びるといふようなシミュレーション結果になっております。

**座 長**

水位の低下時間を2時間遅らせたことによって、SS値を21%低減したというのが昨年の実績であって、今年も同じような操作をやるということによろしいですか。

**事務局**

はい、そのとおりでございます。

**座 長**

よろしいでしょうか。

**A 委員**

はい。

**座 長**

ほかにありますか。

**B 委員**

基本的な話だろうと思いますが、昨年の排砂計画と28年度の目標排砂量の数値というものが大幅に増えておりますが、要因があるようであればお聞かせいただきたいと思いますが。

**座 長**

事務局から回答をお願いします。

**事務局**

先ほども説明がありましており、昨年の排砂後から今年の5月までの堆砂測量結果が29万m<sup>3</sup>ということで、目標排砂量を29万m<sup>3</sup>としております。

昨年12月の時点で一度測量をかけておりまして、その結果で行きますと12万m<sup>3</sup>でございました。それで、この一冬を越した後、5月の測量結果で29万m<sup>3</sup>という結果が出ておりますが、今年の4月の初旬に、出し平ダムにおきまして約500m<sup>3</sup>/sの出水を記録しております。その出水に伴いまして、上流からの土砂がダムに流入したものとふうに考えております。

以上でございます。

## 座 長

ちなみに、9ページに過去の実績排砂量と目標排砂量が記載されていますが、今年の29万m<sup>3</sup>が必ずしも大きいというわけではなさそうです。平均よりはどうも小さいみたいです。

ほかにありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

## 座 長

私から一言。

10ページにSS値の予測がまとまっていまして、あまり予測値と実績値が合っておらず、引き続きモデルの検証を進めるという説明がありましたので、ぜひモデルの検証をよろしくお願いします。

ほかになければ次の議題に移りたいと思います。よろしいでしょうか。

では、続きまして、議題の2番、平成28年度連携排砂に伴う環境調査計画（案）について事務局から説明をお願いします。

## (2) 平成28年度連携排砂に伴う環境調査計画(案)について

座 長

ありがとうございました。

環境調査について、水生生物の調査、河川と海域で追加調査項目があるという説明でした。

ただいまの説明につきまして質問なり意見がありましたらお願いします。

[質疑なし]

座 長

よろしいでしょうか。

また後で最後に時間がありますので、そのときにでも結構でございます。

では、続きまして、議題3、平成28年度大粒径土砂の移動状況調査について事務局から説明をお願いします。

### (3) 平成28年度大粒径土砂の移動状況調査について

#### 座長

昨年に引き続き、大粒径土砂の移動状況調査を行うという説明でした。

今年は簡易なものも含めて百個以上のトレーサーでトライアルするという説明でした。

ただいまの報告につきまして質問、意見がありましたらよろしくお願いします。

#### B委員

トレーサー①②というこの2つについて、昨年よりも個数的には増えているということですが、予算の関係もあるのだろうとは思いますが、本当に真剣にやるような数字ではないのではなかろうかというふうに思います。もっとたくさんやっていただいて、しっかりとしたデータを出していただくということが必要なのではないかと思います。少し考えをお聞かせいただければと思います。

#### 座長

事務局から回答をお願いします。

#### 事務局

確かにもう少し力を入れたいという意味は事務局としてはあります。ただ、高出力タイプとなりますと、1個数十万円という高額な発信器でございますので、その補足として今回、着色つきの石というのも提案し、できるだけ確実に捉えたいという事務局の思いがあります。

排砂のみならず通砂もそういった機会を捉えて、また再トライということも考慮すると、当面は発信器つきは20個でスタートしたいという思いでございます。

#### 座長

まだうまくいくか、いかないかわからない段階ですので、とりあえずやってみて、うまくいけばもう少しお金をかけるし、とりあえず試行、チャレンジということで、よろしくお願いします。

ほかにありましたらお願いします。

[質疑なし]

#### 座長

よろしいでしょうか。

では、議題の4番に行きたいと思います。

(4) 平成28年度連携排砂計画(案)についての黒部川ダム排砂評価委員への持ち回り  
審議結果について

座 長

ありがとうございました。

若干補足しますと、いわゆる排砂評価、環境のほうの委員会につきましては今年から、今まで年2回やっていたけど、1回は持ち回りでやるということになりましたので、今回、その持ち回り分の報告があったというものです。

特段意見なり質問がありましたらお願いします。

[質疑なし]

座 長

よろしいでしょうか。

では、引き続き次の議題へ行きたいと思います。

(5) 平成28年度連携排砂計画及び連携排砂に伴う環境調査計画に関する関係団体からの意見について

座 長

ありがとうございました。

関係団体からこういう意見が出て、それに対してこのように対応していますということの報告でした。

ただいまの報告につきまして質問、意見がありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

座 長

よろしいでしょうか。

続きまして、議題の6番、その他とありますが、事務局から何か報告はありますか。

## (6) その他

### 座 長

ありがとうございました。

15年やってかなりノウハウも蓄積されてきまして、連携排砂、それからダム操作、環境調査がかなりルール化されてきていましたので、それをきちんと取りまとめて、これに従って、もちろん適宜見直しがありますけども、よりよい連携排砂をしていくためにこのようなものをつくることとしておりますので、ガイドラインをつくりますという紹介でございます。

これをつくるに当たっては、当然、この協議会の皆様方のご意見を伺うということでもよろしいですね。

特段質問なり意見がありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

### 座 長

では、このガイドラインに限らず、これまでの議題1から5まで、全体の中で何か言い忘れたというようなことがあればお願いいたします。

### C委員

ちょっと話が戻って恐縮でございます。大粒径土砂の調査の資料-3のほうですが、そちらの3ページ、調査のトレーサーの探索方法でございますけども、トレーサー②について、減勢池で探すということで書いてございますが、それより下流への流出というのは想定する必要はないのでしょうか。

### 事務局

特に減勢池を重点的に調査するという意味で記載させていただいたのですが、ご指摘のとおり、それよりも下流の地点も、峡谷という特殊な場所でもありますけども、できるだけ目視で探したいというふうに考えております。

### 座 長

ほかによろしいでしょうか。

[質疑なし]

### 座 長

では、一通り議事が終わりましたので、まとめさせていただきたいと思います。

まず議題の1、平成28年度連携排砂計画（案）につきましては、今年度の目標排砂量が29万 $m^3$ 、想定変動範囲は14万から38万 $m^3$ という説明がありました。

議論の中では、SS値を低減させるための取り組みはどうしているのかという質問、それから、今年度は昨年より目標排砂量が多いようだが、それに対する質問がありました。原因の回答もありました。

議題2につきましては、平成28年度連携排砂に伴う環境調査計画（案）についてですが、河川及び海域において生物相の変化が見受けられたことから、変化要因を確認するための追加調査を実施するという説明がありました。

議題3の平成28年度大粒径土砂の移動状況調査については、昨年調査の課題を踏まえ、今年度は移動実態を評価できるような取り組みについて説明がありました。

意見としましては、もう少しレーサーの数を増やしやるべきだという意見、それから下流のほうまで追跡調査が必要ではないかというような議論がありました。

議題4につきましては、平成28年度連携排砂計画（案）についての排砂評価委員への持ち回り審議結果についての報告がありました。

議題5では、平成28年度連携排砂計画及び連携排砂に伴う環境調査計画に関する関係団体からの意見とその対応方針について報告がありました。

議題6につきましては、連携排砂のガイドラインを現在作成しているという報告がありました。

以上を踏まえまして、今年度の連携排砂及び環境調査につきましては、今日報告があったとおり、実施主体である国土交通省、関西電力株式会社において適切に実施することによってよろしいでしょうか。

〔各委員うなずく〕

## 座 長

特に異論もなく了承されました。

では、平成28年度連携排砂計画、平成28年度連携排砂計画に伴う環境調査計画については了承され、連携排砂実施に当たっては、今回出された意見も踏まえて適切に実施するということをまとめまして、本日の議事を終了いたします。

ご協力、まことにありがとうございました。

それでは、司会に進行役をお返しします。

#### 4. 閉 会

##### 司 会

委員の皆様には、長時間にわたり熱心なご審議、まことにありがとうございました。

以上をもちまして、第40回黒部川土砂管理協議会を閉会させていただきます。

まことにありがとうございました。